

まちづくり懇談会



地区や団体の皆さんと市長が直接懇談し、さまざまなご意見やご要望を積極的に伺いました。皆さんの声をまちづくりに生かしてまいります。 ※ご意見を一部抜粋して掲載

5月23日(木)
うずもコミュニティセンター

意見

子どもが減少している中、人をどう増やすかということを考えてほしい。
また、地元の子に医師や医療関係者になってもらえるよう、早い段階から将来を見据えた教育に取り組んでほしい。

回答

少子高齢化が進み、人手不足になっている中、人口減少を少しでも遅らせようと、子育てしやすいまちづくりに取り組んでいます。
また、市内県立高校3校と包括連携協定を締結し、新たなバス路線を設けたり、資格取得などへの補助を行なうなど、生徒が通学しやすい、学びやすい環境を推進しています。
小・中学校では、医療教育も取り入れています。

意見

将来働きたい職業に就き、稼ぐことができるようになるには、どのような勉強をすればよいのか、学校での具体的な取り組みを伺いたい。

回答

学校では、自らの力で生き方を選択していけるよう、必要な能力や態度を身に付けるキャリア教育に取り組んでおり、中学1年生では職業人に聞く会や職業調べ、中学2年生では職場体験学習も行なっています。

意見

中学校入学時には、自転車や制服の購入など小学校入学時よりお金がかかるため、子育て応援券を出してほしい。

回答

小学校入学を控えたご家庭に対し、市内協賛店で使用できる3万円分の

ギフト券を贈呈しているほか、小・中学校の給食費無償化を2020年度から継続的に実施しており、さらに就学祝品、修学旅行、部活動における大会参加時の交通費、中学生の自転車用ヘルメット購入などの補助を行なっています。
ご意見については、他の喫緊事業の進捗や財政面などを踏まえ、今後、総合的に検討します。

5月30日(木)
はさき生涯学習センター

意見

息栖神社の周辺が開発されるとのことだが、周辺施設や駐車場などについて伺いたい。

回答

息栖神社周辺の拠点施設については、観光地などを案内する情報発信スペース、特産品などを販売する物販スペース、2階からの眺望を生かした飲食スペースなどを備えた建物を予定しています。
周辺の市道には石畳風の舗装を整備し、船だまりには水辺を生かした

景観整備を行ないます。駐車場はイベントスペースとしても活用できると整備します。

また、船着き場には現在、国が堤防への階段とスロープを整備しており、将来的には船による東国三社の遊覧ができるよう検討し、さらなる魅力向上を目指してまいります。



意見

波崎東部地域では買い物難民が増えており、昔のように近所で買い物し、医療を受けられるよう、商店街や医院などを市でつくってほしい。

回答

市営住宅を整備していく中で発生した余地などを有効活用し、新たに住環境整備を進め、地域を活性化させたいと考えています。

ごみ・資源の適切な出し方

☎ 廃棄物対策課 Tel.0299-90-1148

夏休みやお盆などで、生け垣や庭木などの剪定枝や、多量のペットボトル、ビン・缶などがごみ・資源として出されることが予想されます。ごみ出しルールのご確認をお願いします。



ごみ・資源を出す際のルール

- 1世帯あたり、集積所に出せるごみ・資源は、一度に3袋(1袋あたり重さ10キログラム以内)までです
- ごみ・資源は収集日の当日(午前8時まで)に、集積所に出してください

一度に多量のごみ・資源が出る場合

ごみ・資源が一度に4袋以上出る場合は、ごみ処理施設に自己搬入してください。ただし、お住まいの地域や自己搬入するごみ・資源の種類によって、自己搬入先が異なります。詳しくは「ごみの分け方・出し方ガイドブック」や市ホームページをご覧ください。

夏期に出やすいごみ・資源の分別方法

- 剪定枝
長さ50センチメートル・太さ20センチメートル以下にして可燃ごみの指定袋に入れ、可燃ごみの収集日に出してください。
- ペットボトル
中をすすいでキャップ・ラベルを取り、これらとボトルを一緒に不燃ごみの指定袋に入れ、資源(プラスチック類)の収集日に出してください。
※汚れの取れないペットボトルは可燃ごみで出してください
- ビン・缶
キャップを取り、中をすすいで不燃ごみの指定袋に入れ、資源(ビン・缶)の収集日に出してください。
※キャップ、汚れの取れないビン・缶は不燃ごみで出してください

お盆の時期におけるごみ・資源の収集

お盆の時期において、ごみ・資源の収集は通常どおり行ないます。また、自己搬入についても通常どおり受け入れを行ないます。

